

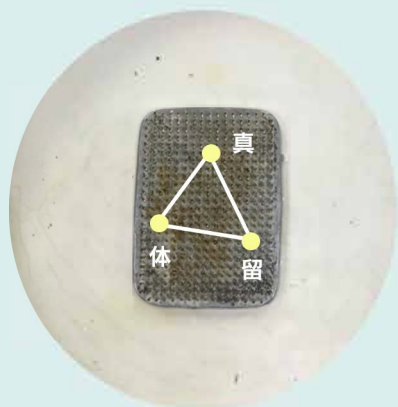
only 3 points

1.花材の種類

「枝もの」と「花を2種」用意すれば、ナチュラルにそして華やかにいけることができる。生ける花は、まず「枝もの」を必ず用意する。そして「主役となる花」とそれを引き立てる「添えの花」をそれぞれ用意する。今回のように葉物もあるとより一層華やかになる。

2.花材の長さ

花材の長さは、1本1本、違う長さにすること。枝ものが一番長く、次に主役となる花や脇役の花をバランスよく長さを整えていく。花材のそれぞれの長さは、次ページにて詳細を説明する。



たった3つのポイント



3.生ける位置と角度

花材は、剣山へさしていく。まず、枝ものを左の図のように不等辺三角になるようにいける。1番長く切った枝を「真(しん)」といい、2番目に長く切った枝を「体(たい)」といい、一番短く切った枝を「留(とめ)」という。

上からまっすぐさし、真を少し後ろへ傾け、体と留は、それぞれ自分の肩先へ少し傾けるようにいける。

詳細な位置や角度は、次ページに詳しく説明する。



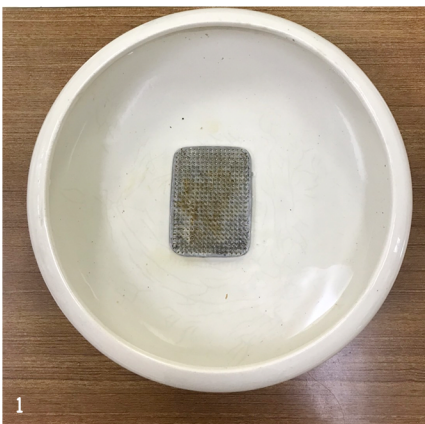
ナチュラル&華やかな 基本のいけばな

FLOWER

右から、雪柳3本、赤ドラセナ1本、ガーベラ3本、グロリオサ1本
※花材は季節や好みに合わせて用意しましょう。

MATERIAL

水盤、剣山、ハサミ



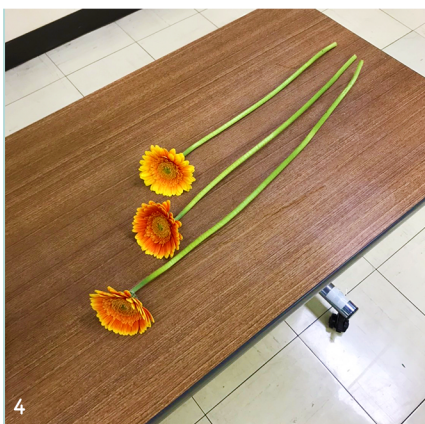
水盤を用意します。剣山は縦長におきます。
水盤がない場合、お皿で代用してもよいです。
水は剣山が、かぶるくらい入れましょう。



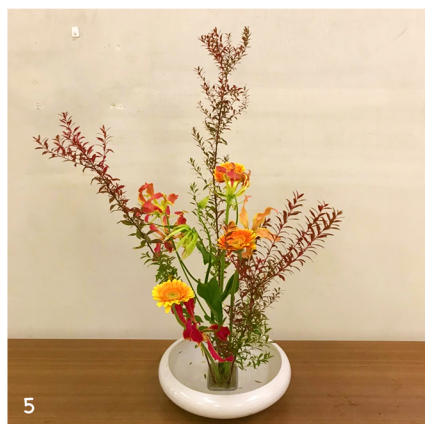
枝ものである雪柳を切っていきます。真となる枝を決めて、約80cmに切ります。次に体となる枝は真の5分の4の長さに切ります。そして、留となる枝は、真の半分の長さに切ります。最後に枝の下から5cmくらについている葉っぱをとりましょう。



3本の雪柳を剣山にさしていきます。真として約80cmに切った枝を一番奥に生けます。次に写真左にある体となる枝を生けます。そして写真右にある留となる枝を生けます。最後に左右に生けた体と留に角度を付けます。左の体は自分の左肩先に10度傾け、右の留は自分の右肩先に30度傾けるのです。その2本は、おおよそ自分の肩幅になります。



次にガーベラを切ります。3本の中で花が小さいものを一番長きり、花が大きいものは一番小さく切るのがポイントです。長さは、一番長いものを約50cmに切ります。中くらいの長さの花は、それより5cmほど小さくきり、一番短い花は、さらに5cmほど小さく切ります。すると、写真のように全て長さの違う花になります。



雪柳の生けた内側にガーベラをさしていきます。一番長いものを奥へ、中くらいのものを真ん中の左右どちらかへ。そして一番短いものを手前にいけるのです。花の位置が三角形になるようにいけるのがポイントです。最後に1本のグロリオサをいくつかわけて切り、雪柳の内側にバランスをみながら、隙間を埋めるように生けてみましょう。



最後に1本の赤ドラセナを写真のように切り分けます。今回、葉物は枝ものである雪柳の外側に生けていきます。前や右後ろ、左前など、空いている自分の好きな場所に生けていきましょう。最後に全体のバランスをみたら完成です。

